

〈入試科目の見方〉

公募推薦入試のみ受験の場合は、各入試科目の「公募推薦」の欄についている◎が受験科目になります。また、公募推薦入試と給費生入試を同時出願する場合は「給費生」の欄の◎が受験科目になります。

音楽療法コース

試験科目	内容	注記	A	給費生	公募推薦	一般前期	一般後期	
1 主科に関わる課題	<p>A. 以下の(1)および(2)の両方を受験する</p> <p>(1)小論文 60分・800字以内（表現力や自分の考えをまとめる能力をみる）</p> <p>(2)音楽実技 以下の(a)～(c)のいずれか1つを選択</p> <p>(a)歌唱 イタリア古典歌曲または日本歌曲の中から任意の1曲。原語で歌う（暗譜でなくてもよい）。</p> <p>(b)器楽演奏 任意の楽器による自由曲1曲。使用楽器は器楽学科に設けているコースの楽器から任意に選ぶ（暗譜でなくてもよい）。</p> <p>(c)ポピュラー演奏 下記の①～⑧による自由曲（ポピュラー曲）1曲（暗譜でなくてもよい）。</p> <p>①ピアノ ②ギター ③ベース ④サクソフォーン ⑤トランペット ⑥トロンボーン ⑦ドラムス ⑧ヴォーカル</p>	<p>※音楽実技について。 (a)の場合、ピアノ伴奏は大学側で準備する。楽譜を出願時に提出すること。 (b)の場合、ピアノ、オルガン、電子オルガン、大型楽器以外の楽器は各自持参すること。受験曲の演奏には伴奏はつけない。 (c)の場合、ピアノ、ドラムセット等大型楽器以外は各自持参すること。 ②③④⑤⑥⑧は、ソロ（アカペラ）または伴奏付き。伴奏の種類はピアノ伴奏または音源による伴奏とする。ピアノ伴奏の場合は伴奏譜を、音源による伴奏の場合は、演奏する楽器（またはヴォーカル）を抜いたCDまたはMDを出願時に提出すること。 注：(c)ポピュラー演奏を選択した場合、入学後の実技レッスンは受ける事ができませんのでご留意下さい。</p>			◎	◎	◎	◎
	<p>B. 以下を受験する</p> <p>音楽実技 以下の(a)～(c)のいずれか1つを選択</p> <p>(a)歌唱 イタリア古典歌曲または日本歌曲の中から任意の1曲。原語で歌う（暗譜でなくてもよい）。</p> <p>(b)器楽演奏 任意の楽器による自由曲1曲。使用楽器は器楽学科に設けているコースの楽器から任意に選ぶ（暗譜でなくてもよい）。</p> <p>(c)ポピュラー演奏 下記の①～⑧による自由曲（ポピュラー曲）1曲（暗譜でなくてもよい）。</p> <p>①ピアノ ②ギター ③ベース ④サクソフォーン ⑤トランペット ⑥トロンボーン ⑦ドラムス ⑧ヴォーカル</p>		◎					
2 主科面接	志望理由書をもとにした面接	※音楽療法に対する意欲と関心の度合いを重視する。	◎	◎	◎	◎	◎	
3 AO面接		※AO面接は主科面接の中で行う。なお、5分以内の自己アピールを含む。ただし、機材が必要な場合は各自持参すること。	◎					
4 給費生作文	指定する作曲家のうち一人を選び、その伝記を読んで、試験当日に課題作文を書く。伝記は単行本に限り、辞書・辞典類の項目は認めない。当日参照不可。／60分 詳細は●ページに記載。			◎				
5 給費生面接				◎				
6 一般科目	<p>A. 本学で行う以下の一般科目(a)～(c)の中から1科目を選択して受験（45分）</p> <p>(a)英語（I・II） (b)国語（国語総合、国語表現I、ただし古文・漢文を除く） (c)数学I</p>					◎		
	<p>B. 大学入試センター試験の成績を利用する</p> <p>以下の(a)～(f)の中から2教科2科目を選択</p> <p>(a)国語 (b)地理歴史 (c)公民 (d)数学 (e)理科 (f)外国語</p>	※「国語」「地歴」「公民」「数学」「理科」「外国語」について3教科・3科目以上受験した場合は、高得点の科目を合否判定に使用。判定の際、各科目毎100点満点に換算。合否判定に使用できる科目の詳細については38ページを参照。					◎	

- 作曲コース
- デジタルミュージックコース
- 指揮コース
- サカドフェースコース
- ピアノ演奏家コース
- ピアノ指導者コース
- ピアノ音楽コース
- オルガンコース
- 電子オルガンコース
- 弦響打楽器コース
- ジャズコース
- ポピュラー音楽コース
- 声楽コース
- アートマネジメントコース
- 舞台スタッフコース
- 音楽療法コース
- ミュージカルコース
- バレエコース